

基本情報

指標番号
2140

名称
7日以内再入院のうち計画外入院割合（同一病院内）

分母
前回退院日が今回の入院日から7日以内の症例数（同一病院内）

分子
分母のうち計画外の再入院の症例数

指標群
マネジメント

意義
マネジメント

年度
2012,2014,2016,2018,2020,2022

必要データセット
DPC 様式1

指標の定義算出方法

分母の定義

1. 前回退院日が今回の入院日から7日以内の症例数（4月1日退院、4月2日再入院の場合1日と計算する。同一病院内）
2. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義

1. 分母のうち、再入院調査の再入院種別が計画外の再入院である症例数（2012年度～2015年度
3. 予期せぬ再入院、2016年度～ 2. 計画外の再入院）

その他

薬剤一覧の出力
いいえ

リスク調整因子の条件

指標の算出方法
分子÷分母

指標の単位
パーセント

結果提示時の並び順

昇順

測定上の限界・解釈上の注意

参考資料

参考値

参考資料

1. 再入院調査は、前回退院年月日より6週間以内の再入院である場合の親様式1は入力必須となる。指標で利用している再入院種別は、2012年度～2015年度は3つに区分（1：計画的再入院、2：予期された再入院、3：予期せぬ再入院）され、2016年度からは2つに区分（1：計画的再入院、2：計画外の再入院）されている。なお、2012年度から2015年度の3：予期せぬ再入院としては理由は5区分（1：予期せぬ原疾患（前回入院時に医療資源を最も投入した傷病）の悪化、再発のため 2：予期せぬ原疾患の合併症発症のため 3：予期せぬ併存症（前回入院時の入院時併存症及び入院後発症疾患）の悪化のため 4：新たな他疾患発症のため 5：その他）が設定されており、2016年度からの2：計画外の再入院は7区分（1：原疾患（前回入院時の主傷病と医療資源を最も投入した傷病）の悪化、再発のため 2：原疾患の合併症発症のため 3：前回入院時の入院時併存症の悪化のため 4：前回入院時の入院後発症疾患の悪化のため 5：前回入院時の手術・処置や治療の合併症が退院後に発症したため 6：新たな他疾患発症のため 7：その他）が設定されている